

PRESS RELEASE

2003年1月31日 No.03001

FloraGLO[®] ルテイン含有製品が続々登場

- 学会での発表や共同研究活動も積極的に支援 -

このほど、ケミンフーズ社(米国アイオワ州デモイン)は、自社で精製・販売している FloraGLO[®](フローラグロー)ルテインの日本における採用企業数が 33 社(2003 年 1 月現在)を超えることを明らかにしました。2002 年 1 月の採用企業は 12 社にとどまっていたが、明治製菓、常盤薬品工業、キューピー、ファンケル、日本アムウェイといった大手メーカーが相次いでルテイン市場に参入。これに伴い、ケミンフーズ社が国内で販売する FloraGLO[®]ルテインの 2002 年(1 月～12 月)出荷量は前年実績に対し 80% 増の大幅な伸びとなりました。

同社は昨年 12 月、視覚的にも光学的にも透明で、液体に溶けやすい水溶性の精製ルテイン「ClearTec[™](クリアテック)コーティング加工 FloraGLO[®]ルテイン」を新たに開発。ジュースやパーソナルケア製品など、特に水ベース製品へのルテイン利用の拡大を図っています。これまで、FloraGLO[®]ルテインを含む製品の販売は、通信販売やインターネットが中心とされてきましたが、一部の商品についてはすでに小売店での店頭販売がスタートしています。食品、飲料といったルテイン適用製品の拡大とあわせ、今後はさらに、流通ルートが広がることが期待されています。

近年、高齢化の進む日本では、加齢によって引き起こされる加齢黄斑変性症(AMD)や白内障、緑内障といった眼病の増加に伴って、眼の健康維持と眼病予防に対する認識が高まっています。なかでも、眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として知られる「ルテイン」は大きな注目を集めており、ケミンフーズ社が昨年 7 月に日本で行った「ルテインに関する消費者調査」では、ルテインを知っていると答えた一般消費者は全体の 26% にのぼりました。こうしたルテイン認知の高まりを受け、現在、サプリメントをはじめとしたルテイン含有製品が相次いで市場に登場しています。

一方、医学・眼科関連の学会や研究機関においても、ルテインに関する研究が盛んに行われています。昨年 5 月には、眼科・視科学の国際学会である ARVO(The Association for Research in Vision and Ophthalmology)において、シカゴ医科大学のスチュワート・リッチャー博士が黄斑変性症患者による FloraGLO[®] ルテインを使用したプラセボ対照実験*(脚注参照)について発表。また、米国眼科学会(American Academy of Ophthalmology)では、FloraGLO[®] ルテインに関するヘルス・フォーラムも開催されました。国内においても、レーザー医学会におけるスポンサー活動、名古屋市立大学大学院での特別講座など、ルテインに関する知識普及に注力しています。ケミンフーズ社では、今後さらに各学会における知識普及を行うとともに、大学をはじめとした研究機関との共同研究など啓蒙・普及活動を展開していく方針です。

***プラセボ対照実験について**

リッチャー博士は、加齢性黄斑変性症(AMD)患者90人を対象に、ルテインサプリメントと、ルテイン+酸化防止剤のサプリメントを投与した場合の効果測定。主に、眼の黄斑部における色素密度やレンズの混濁の程度、AMDに関係する日常生活上の活動(夜の運転、眩しい光への適応障害)などについて比較を行いました。その結果、ルテイン使用群、ルテイン+酸化防止剤の使用群では、12ヶ月で眼の黄斑色素密度の平均が50%増加しました。すでにリッチャー博士の実験によって、黄斑色素密度の増加が酸化や光によるダメージから網膜を保護することが実証されていることから、今回の実験の結果、10mgの1年間のサプリメントーションにより、予防効果のみならず改善効果もあることが示唆されたと言えます。

ルテインについて

「ルテイン」とは、脂溶性抗酸化物質であるカロチノイドの一種で、ホウレンソウやケールなど緑色葉菜に多く含まれる成分です。近年の研究により、人間の眼の黄斑部と水晶体に存在するカロチノイドはルテインとその関連物質であるゼアキサンチンだけであることがわかり、ルテインは眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として注目されるようになりました。特に、高齢化の進む先進諸国では失明原因のトップに挙げられる眼病、加齢黄斑変性症(AMD)や白内障の発症リスクを低減する成分として認められているほか、最近では、乳がんや皮膚の健康との関連性も指摘されています。

ルテインに関する詳細は、「ルテイン情報局」日本語版ウェブサイト <http://www.luteininfo.jp> をご参照ください。

「FloraGLO®」(フローラグロー)ルテインについて

FloraGLO®ルテインは、ケミンフーズ社の特許製法によってマリーゴールド(*tagetes erecta*)から抽出・精製されたルテインです。自然界に存在する天然のルテインと同じ成分を抽出・精製したことで米国の独立した第三者機関によって評価され、一般に安全とみなされる(GRAS)物質であると認められています。同社では、日本、米国、カナダ、EUなど世界9カ国・地域で製法特許を取得しており、すでに100種類以上のビタミン剤やサプリメントといった栄養補助食品、食品、パーソナルケア商品などに FloraGLO®ルテインが利用されています。

ケミンフーズ社(Kemin Foods, L.C.)について

米国アイオワ州デモインに本社を置くケミンフーズ社は、世界60カ国以上で事業を展開しているケミン・ワールドワイド・グループの一員として、食品や補助食品、パーソナルケア向け天然成分の製造販売を手がけるグローバル企業です。同社では、アジア地域における拠点として2000年にケミン・ジャパン(株)を設立。国内における販売パートナーである光洋商会とともに、FloraGLO®ルテインの普及活動に取り組んでいます。

「FloraGLO®」ルテインとケミンフーズ社に関する詳細は、<http://www.keminfoods.com>(英語)をご参照ください。